

新型コロナウイルス感染拡大防止に関する緊急要望・質問書

日本共産党松戸・鎌ヶ谷地区委員会
日本共産党千葉県議会議員みわ由美
日本共産党松戸市議団

国内での新型コロナウイルスの新規感染者が再び増加し、市中感染が広がり感染第2波とも考えられるような状況と報道されています。松戸市内の新規感染者も6月下旬から断続的に発生しています。

このような状況のもと、全力で感染拡大防止策を強めることが求められており、第1番に取り組むこととして、感染者との濃厚接触者や症状のある人に限らず、これまでの枠を超えたPCR検査を大規模に拡充・実施し、感染陽性者の隔離・保護治療する取り組み緊急に行なうことが必要です。感染者の半数近くが感染経路不明と言われており、感染力のある無症状者を見つけ出し隔離保護することが感染拡大防止のカギとなります。特に医療機関、介護施設、福祉施設、保育園・幼稚園、学校など集団感染によるリスクが高い施設に勤務する職員等への定期的なPCR検査を行なうことが必要です。

また、新型コロナウイルス感染者の受け入れの有無に限らず医療機関の経営が厳しい状況となっているために医療機関等への支援も待ったなしです。

そこで以下のような要望・質問に対してご回答をお願いします。

質問1、新型コロナウイルス感染に対するPCR検査実施は人口10万人に1カ所必要と言われていています。その目安に基づいたPCR検査が実施できるように拡充すべきと思いますが、市内のPCR検査の実施件数の現状と、今後の検査件数と検査実施箇所数の拡充をどのように考えていますか。

質問2、医療機関、介護施設、福祉施設、保育園・幼稚園、学校など集団感染によるリスクが高い施設に勤務する職員等への定期的なPCR検査を行なうべきと求めますが、どのように考えていますか。

質問3、市内で新規感染者が確認された施設・事業所のPCR検査の実施は、濃厚接触者や高齢者施設に限らず広く行政検査を超えた施設・事業所関係者全員を対象とすべきと考えますが、どうなっていますか。

質問4、感染陽性者は医療機関への受け入れや軽傷者についても隔離・保護すべきと考えますが、状況はどうなっていますか。また、今後の隔離・保護についてどのように考えていますか。

質問5、市立総合医療センターの経営状況について、4月・5月・6月の収支状況と、国・県・その他の経営支援状況はどうなっていますか。国・県への支援増額の要請をすべきと思いますがどうなっていますか。また、感染者に対応した医療従事者への手当の支給はどうなっていますか。

質問6、市立総合医療センターについて、

- ①感染病床は、現在と今後35床からの増減があるのでしょうか。
- ②感染者に対応している医師や看護師等の4月から7月にかけて超過勤務は、昨年と比較してどのようになっていますか。(多い人少ない人別に)
- ③有給休暇・夏季休暇の取得できるようにすべきと思いますが、状況はどうなっていますか。

以上